



あいことば 上宇部 2025

～ 「あい」「ことば」を大切にする学校 ～

07.04 NO-29

カリマネミーティングから生まれた校外学習

この取組は、6月に教職員と地域の方とで実施した、カリマネミーティングに端を発します。ミーティングの中で、3年部の教員と地域の方との間で、「地域を知る学びができるといいな～」という思いが重なり、話が盛り上がる場面がありました。

学校と地域との話し合いでは、活発に意見交換を行ったり、盛り上がったりすることはよくあります。しかし、「いい話し合いだったね～」で終わってしまうことも散見されますが、上宇部地域と上宇部小の教員のステキなところは、それから先の以下の動きです。

- ① カリマネミーティングの夜、早速、地域のふれあいセンターでミーティングに参加されていた方が別の方々と、「学校の先生がこんないいことを考えているんだよね～」ということで意見交換をしていました(右写真)。
- ② そんな地域の方の思いと学年部の考えをすり合わせるために、教員が地域の方に連絡をし、具体案を考えるための意見交換が始まりました。
- ③ あっという間に、以下の3つを目的とした校外学習プランが作れました。
 - 上宇部地区の農家の方から米作りについて話を聞いたり、田んぼを見たりすることで、農家の人の仕事や思いについて知る。
 - おはぎを作り販売しているお店の様子を見学し、働いている人の話を聞く。
 - 上宇部地区で活躍している人の話を聞き、上宇部のよさを再確認する。
- ④ 7月3日 校外学習が実施されました(下写真)。※詳細については次号で紹介します。



話し合いを話し合いだけで終わらせないことやスピード感に、ただただ感服です。

この取組は、教員と地域の方の「子どもたちによりよい学びを!! 多様な経験を!!」という思いが原動力となり、上宇部地域のつながりが最大限に発揮され形になったものです。

今後は、この取組の成果検証を行い、学校・地域連携カリキュラムに、どのように位置づけていくか等、地域の方とともに考えていくこととなると思います。